

新任議員研修会に参加

7月10日、北海道町村議会議長会主催の新任議員研修会が札幌市で開催され、音更町議会からは7名の議員が参加した。

講師は、北海道町村

議会議長会事務局長の村川寛海氏が務め、「議会の運営と福利制度等」を演題として講演した。講演の中で村川氏は、議員の基本使命として、議員は全住民の代表であり、一部の奉仕者ではないと説明した。

また、議会は最終の意思決定機関であり、議案は十分に研究した上で決定されるべきと議会の重要性を述べた。更に議会運営の説明では定例会の一般質問に触れ、町村側から良い答弁を貰うために質問通告をすることが大事であり、議員の最も重要な役割であるとした。

その他、委員会活動や請願・陳情の取扱、意見書の説明を行い意見書提出については国がしっかり見ているので議会でも重要事項であるとした。

議員の福利厚生制度については、公務中に事故等による怪我をする議員が多くいることを挙げ、福利制度の理解と個人の備えが重要と指摘した。最後に地方議会の現状と課題を紹介し、全国町村議会議長会としても、議会の機能強化及び多様な人材を確保するため、兼業禁止の緩和や議員報酬の改善などを国に求めていくとして、研修会を終えた。

参加した議員からは、具体的な事例の説明がわかりやすく、今後の議員活動に役立てたい等の抱負があった。

帯広大谷短大生 20名が議会を傍聴

6月18日の第2回定例会の一般質問を、帯広大谷短大の地域教養学科2年生20名が傍聴しました。

いただいた感想の一部を紹介します。

◇幼児教育・保育の無償化に関する質問では、財政への影響や待機児童対策など難しいと感じた。

◇スマート農業の質問では、十勝でもロボットやICTの先端技術を活用していることに驚いた。

◇他市町村の施策も調べてみたいと思った。自分の町がより良くなるように考えなければと感じた。

◇女性議員だからこそ言える質問もあり、女性も活躍できる社会になったと思った。

◇傍聴者は多かったが、若者はいなかった。も

っと関心を集めることが大切。

◇議員が問題提起をしているから、音更町が成り立っている。

◇選挙で投票したので知っている議員が多く、町のために頑張っていると感じた。

◇議員一人に70分も時間が与えられていて驚いた。議員の仕事が少しわかった。

◇私が将来、議員になる機会があるかわからないが、今回の経験は忘れない。

初の試み!「ナイター議会」を開きます

～是非、傍聴にお越しください～

音更町議会では、議会活性化の取り組みの一つとして「ナイター議会」を開きます。

通常は平日の昼間に開催している議会ですが、普段は仕事などの都合で傍聴に来られない方も、是非この機会に臨場感のある一般質問の様子をご覧ください。

予約は不要です。受付票に住所、氏名、年代を記入いただいて自由に傍聴できます。お気軽にお越しください。

○日時 令和元年9月12日(木曜日)午後6時から

※この日は一般質問を行います。

午後1時30分から通告1～2番を行ったあと休憩とし、午後6時から通告3～4番を行います。

○場所 役場2階 本会議場



熱心な質疑に緊張(帯広大谷短大生が議会傍聴)

◇20代や30代の若い議員が活躍した方が良く感じた。

議会だより193号 広報コンクール入選

町議会発行の「議会だより193号(平成31年1月25日発行)」が、北海道町村議会議長会主催の、令和元年度議会広報コンクールにおいて「入選」を受賞しました。

広報特別委員会では昨年度に引き続き「議会だよりモニター」を実施します。町民の声を取り入れ、今後もより良い紙面づくりに努めていきます。